

## 第3章 原村の健康に関する概況



### 第3章 原村の健康に関する概況

#### 1. 人口の特徴

##### (1) 年齢階層別人口の推移

年齢階層別人口は増加傾向にあり、平成12年度から令和5年度を見ると、平成12年度7,207人から5年度は7,734人と527人増加しています。

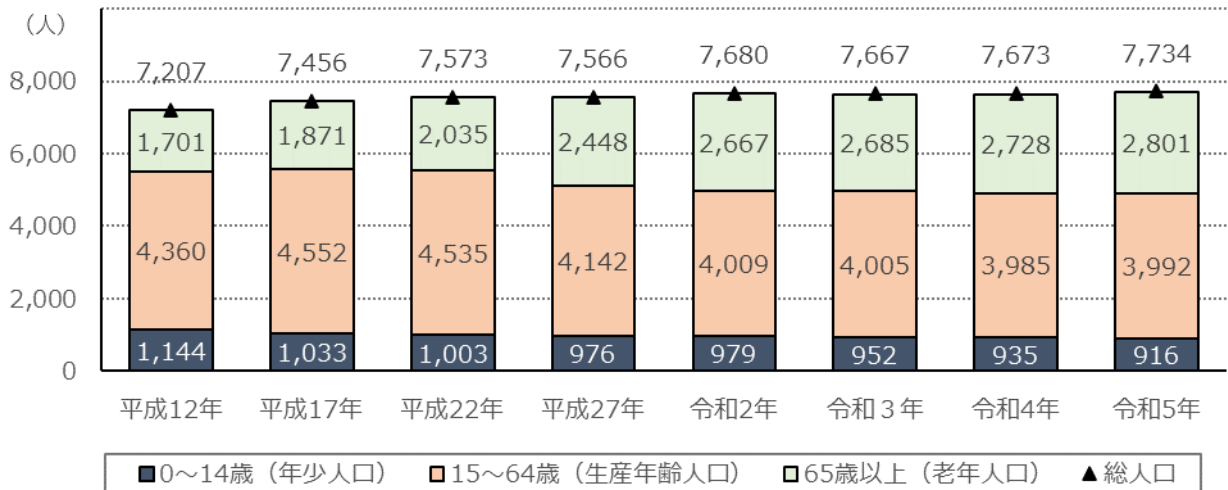
0～14歳の年少人口は1,144人から916人と228人減少し、15～64歳の生産年齢人口は4,360人から3,992人と368人の減少です。65以上の老年人口は1,701人から2,801人と1,100人の増加と、本村は少子高齢化が進んでいます。

年齢階層別人口の推移

単位：人・%

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総人口	7,207	7,456	7,573	7,566	7,680	7,667	7,673	7,734
0～14歳（年少人口）	1,144	1,033	1,003	976	979	952	935	916
年少人口割合	15.9	13.9	13.2	12.9	12.7	12.4	12.2	11.8
15～64歳（生産年齢人口）	4,360	4,552	4,535	4,142	4,009	4,005	3,985	3,992
生産年齢割合	60.5	61.1	59.9	54.7	52.2	52.2	51.9	51.6
65歳以上（老年人口）	1,701	1,871	2,035	2,448	2,667	2,685	2,728	2,801
高齢者割合	23.6	25.1	26.9	32.4	34.7	35.0	35.6	36.2

\* 国勢調査及び毎月人口異動調査（各年10月1日現在）



## 2. 死因割合

### (1) 主要死因の比較

平成30年度と令和3年度の主要死因を見ると、平成30年度は悪性新生物が26人の26.5%、次に心疾患20人の20.4%、脳血管疾患8人の8.2%と続きます。令和3年度は悪性新生物が36人の34.3%、次に心疾患16人の15.2%、老衰8人の7.6%と続き、悪性新生物の死亡の増加がみられます。

平成30年度・令和3年度 主要死因の比較

単位：人・%

平成30年度				令和3年度					
全体		総人口	死亡者総数	死亡率（人口千対）	全体		総人口	死亡者総数	死亡率（人口千対）
		7655	98	1.3%			7667	105	1.4%
1位	悪性新生物	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合	1位	悪性新生物	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合
		26	0.3%	26.5%			36	0.5%	34.3%
2位	心疾患	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合	2位	心疾患	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合
		20	0.3%	20.4%			16	0.2%	15.2%
3位	脳血管疾患	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合	3位	老衰	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合
		8	0.1%	8.2%			8	0.1%	7.6%
4位	老衰	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合	4位	脳血管疾患	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合
		7	0.1%	7.1%			5	0.1%	4.8%
5位	事故	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合	5位	大動脈瘤及び乖離	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合
		5	0.1%	5.1%			3	0.0%	2.9%

\* 諏訪地方統計要覧より参照

### (2) 全死亡に占める3大主要死因の推移

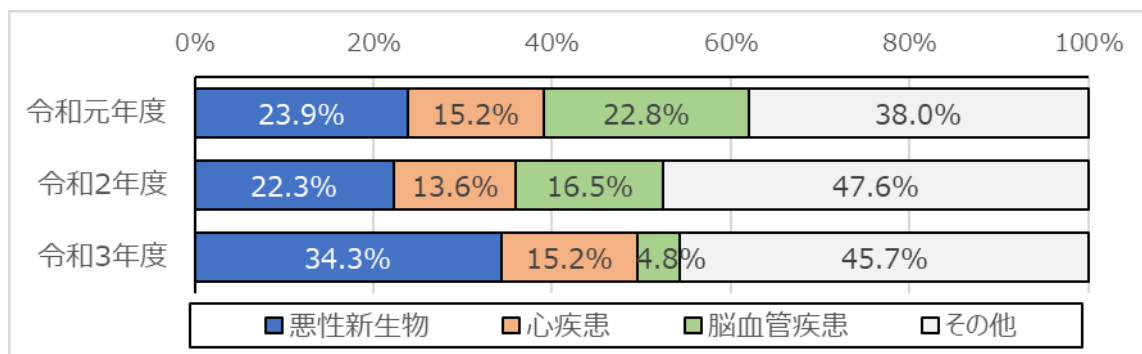
令和元年度から3大主要死因の推移は、悪性新生物と、心疾患が増加し、脳血管疾患が減少傾向にあります。令和3年度は悪性新生物36人の34.3%、心疾患16人の15.2%、脳血管疾患5人の4.8%です。

全死亡に占める3大主要死因の推移

単位：人・%

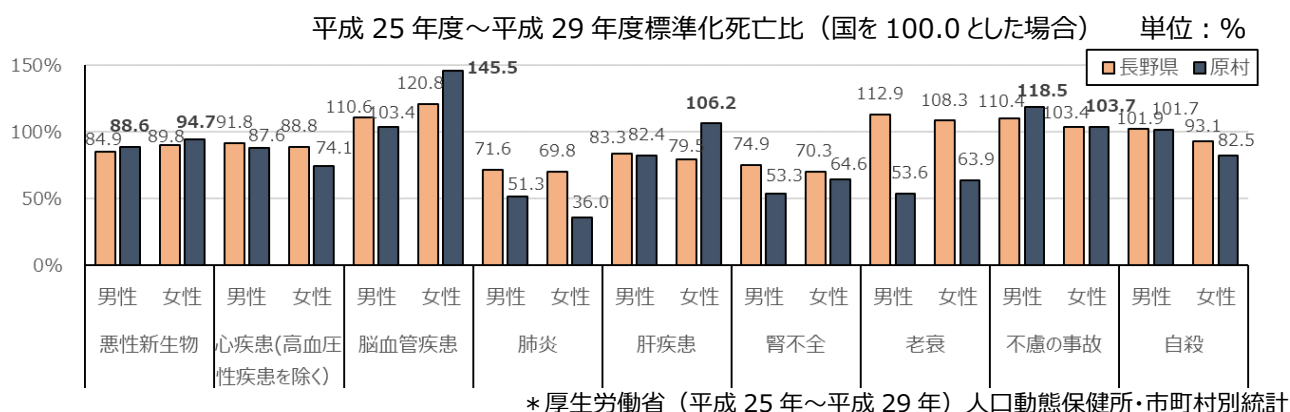
	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	実数	%	実数	%	実数	%
悪性新生物	22	23.9%	23	22.3%	36	34.3%
心疾患	14	15.2%	14	13.6%	16	15.2%
脳血管疾患	21	22.8%	17	16.5%	5	4.8%
その他	35	38.0%	49	47.6%	48	45.7%
全体	92	100.0%	103	100.0%	105	100.0%

\* 原村の統計（令和4年度版）



### (3) 標準化死亡比

平成 25～平成 29 年度の標準化死亡比を、国を 100.0%とした場合の長野県との比較では、男性は「悪性新生物」が長野県より高く、「不慮の事故」が国、長野県を超え高く「自殺」が国より高い割合になっています。女性は「悪性新生物」が長野県より高く、「脳血管疾患」「肝疾患」「不慮の事故」が国、長野県より高い割合になっています。



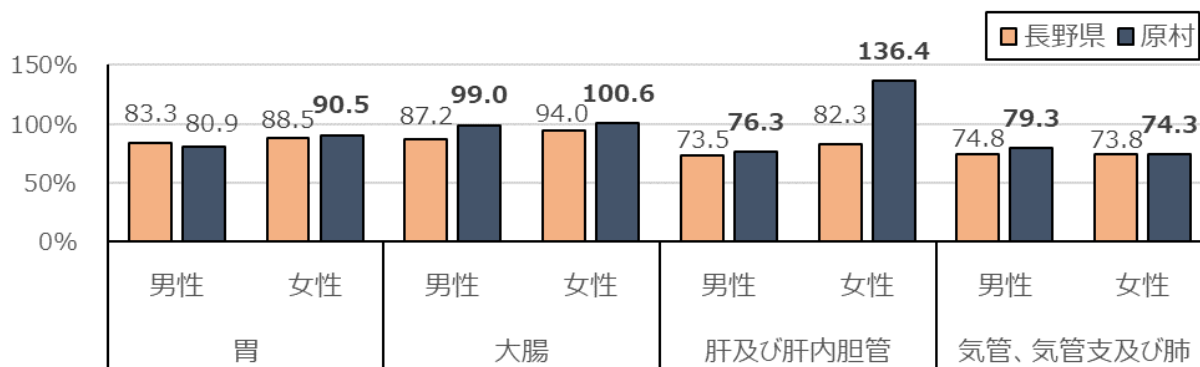
### (4) 悪性新生物の部位別標準化死亡比

平成 25～平成 29 年度の悪性新生物の部位別標準化死亡比を、国を 100.0%とした場合の長野県との比較では、男性は「大腸」「肝及び肝内胆管」「気管、気管支及び肺」が長野県より高く、女性は「胃」「大腸」「肝及び肝内胆管」「気管、気管支及び肺」が長野県より高く、特に「大腸」「肝及び肝内胆管」が国より高い割合になっています。

平成 25～29 年度悪性新生物の部位別標準化死亡比 単位：%

	胃		大腸		肝及び肝内胆管		気管、気管支及び肺	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
長野県	83.3	88.5	87.2	94.0	73.5	82.3	74.8	73.8
原村	80.9	90.5	99.0	100.6	76.3	136.4	79.3	74.3

\*厚生労働省（平成 25 年～平成 29 年）人口動態保健所・市町村別統計



### 3. 健診等の状況

#### (1) 特定健康診査の推移と比較

特定健康診査の受診者数は令和元年度以降減少傾向にあり、平成30年度より令和4年度は103人減少し、総合実施率は4.2%減少しています。男女別受診率は、女性が4割を超え、男性は3割台で推移し、令和4年度は男性36.3%、女性42.6%と女性が6.3%高くなっています。

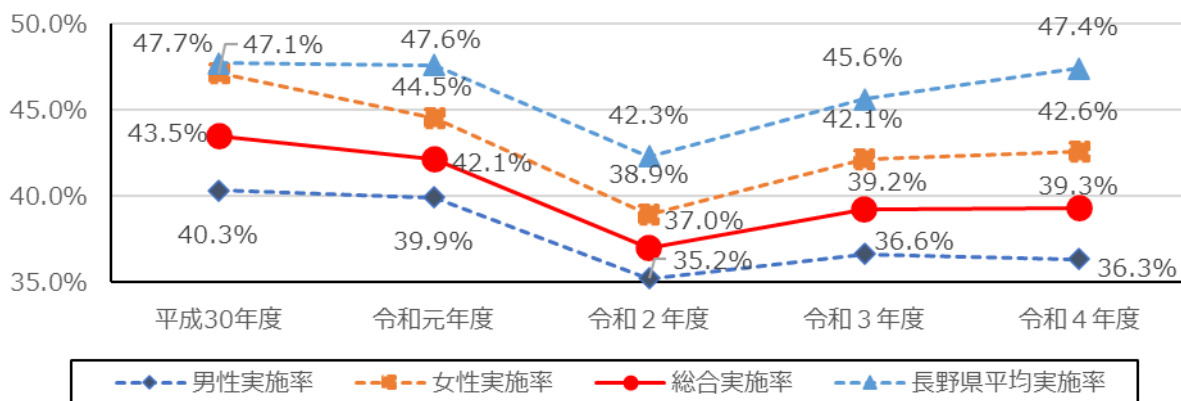
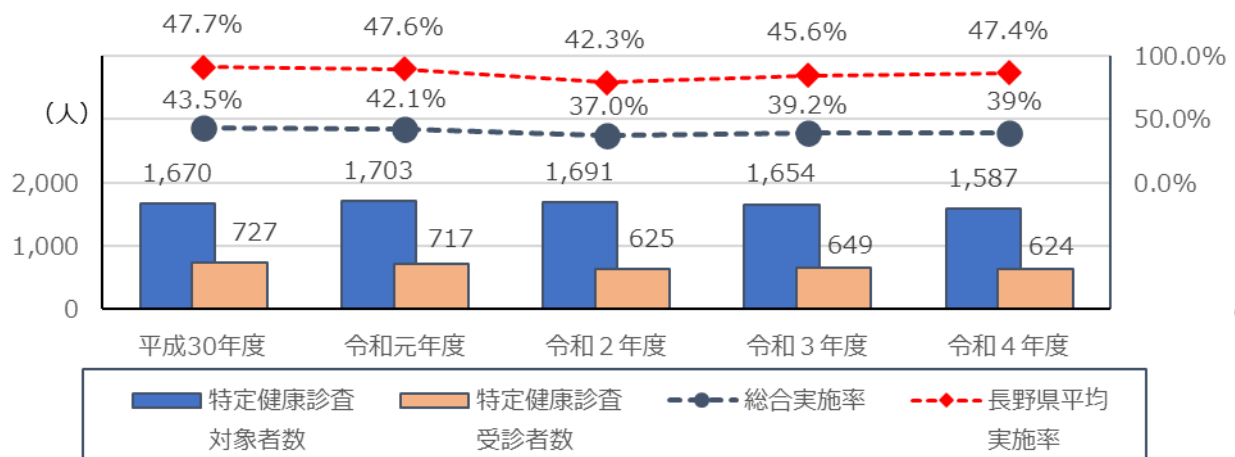
長野県平均実施率と比較すると、令和4年度は8.1%低い実施率になっています。

特定健康診査の推移と比較

単位：人・%・位

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定健康診査対象者数	1,670	1,703	1,691	1,654	1,587
特定健康診査受診者数	727	717	625	649	624
男性実施率	40.3%	39.9%	35.2%	36.6%	36.3%
女性実施率	47.1%	44.5%	38.9%	42.1%	42.6%
総合実施率	43.5%	42.1%	37.0%	39.2%	39.3%
長野県平均実施率	47.7%	47.6%	42.3%	45.6%	47.4%
原村県内順位	64	70	66	71	74

\* 保険者ネットワーク 特定健診・特定保健指導実施結果集計表



## (2) 特定保健指導の推移と比較

特定保健指導の総合実施率は、年度により増減があります。令和4年度の総合実施率は平成30年度より11.7%減少し、特に男性が14.6%、女性は5.4%と男性の減少が目立ちます。

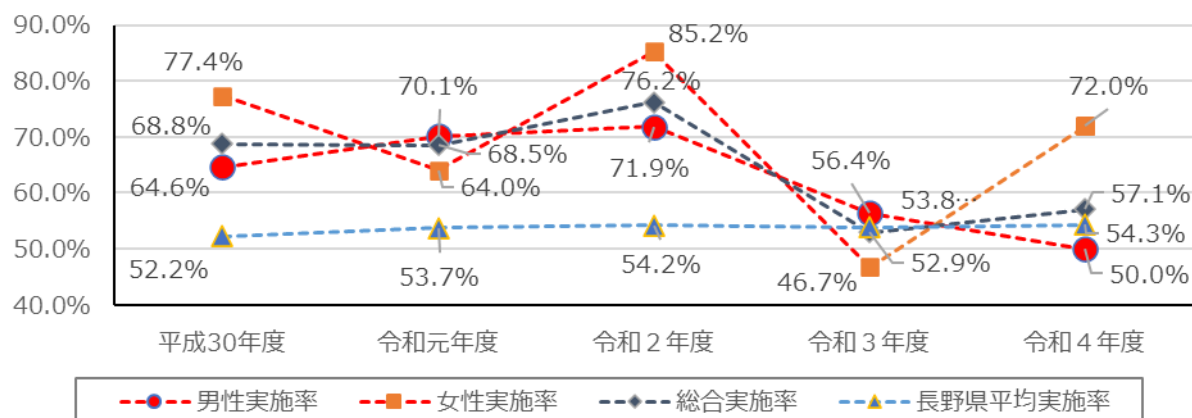
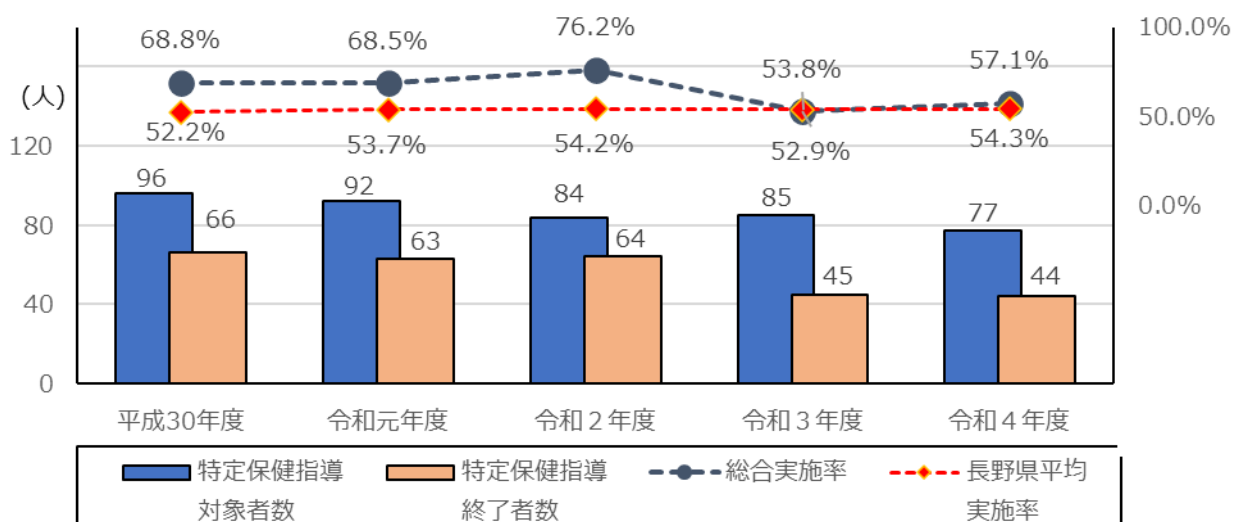
長野県平均と比較すると、令和4年度は57.1%で2.8%高い割合になっています。

特定保健指導の推移と比較

単位：人・%・位

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定保健指導対象者数	96	92	84	85	77
特定保健指導終了者数	66	63	64	45	44
男性実施率	64.6%	70.1%	71.9%	56.4%	50.0%
女性実施率	77.4%	64.0%	85.2%	46.7%	72.0%
総合実施率	68.8%	68.5%	76.2%	52.9%	57.1%
長野県平均実施率	52.2%	53.7%	54.2%	53.8%	54.3%
原村県内順位	40	36	23	59	55

\* 保険者ネットワーク 特定健診・特定保健指導実施結果集計表



### (3) 各がん検診の受診者数と精密検査受診率・がん発見者数の推移

各がんの受診者数は、年度により増減があり、令和元年度から令和4年度をみると、乳がんは増加していますが、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、前立腺がんは減少しています。

令和4年度の精密検査受診率は胃がんと乳がんが100%、大腸がんは95.7%と増加、子宮頸がんは75.0%と前年と同じ、前立腺がんは50.0%と減少しています。

各がん検診の受診者数と精密検査受診率、発見者数

単位：%・人

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	受診者数	56	61	44	39
	精密検査者数	8	3	5	2
	精検受診率	100.0	100.0	100.0	100.0
	がん発見者数	0	0	0	0
大腸がん	受診者数	540	480	449	432
	精密検査者数	25	28	28	23
	精検受診率	92.0	92.9	71.4	95.7
	がん発見者数	1	3	0	1
子宮頸がん	受診者数	391	321	299	333
	精密検査者数	9	8	4	4
	精検受診率	100.0	100.0	75.0	75.0
	がん発見者数	0	0	1	0
乳がん	受診者数	211	186	209	231
	精密検査者数	16	9	14	9
	精検受診率	93.8	100.0	100.0	100.0
	がん発見者数	0	0	1	0
前立腺がん	受診者数	69	47	63	52
	精密検査者数	4	1	5	4
	精検受診率	25.0	100.0	60.0	50.0
	がん発見者数	0	0	0	1



## 4. 国民健康保険医療費の状況

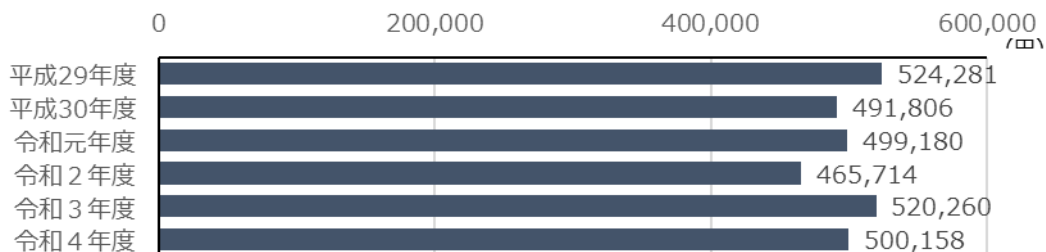
国民健康保険給付額は、平成29年度が高く、以降年度により増減があり、特に令和3年度が高くなっています。一人当たり療養諸費費用費も令和3年度以降30万円を超えています。

健康保険給付の推移

単位：円

	件数	費用額	給付額
平成29年度	30,420	717,506	524,281
平成30年度	30,110	675,963	491,806
令和元年度	31,695	686,313	499,180
令和2年度	27,673	639,599	465,714
令和3年度	29,696	706,594	520,260
令和4年度	28,948	681,327	500,158

\*原村の統計（令和4年度版）

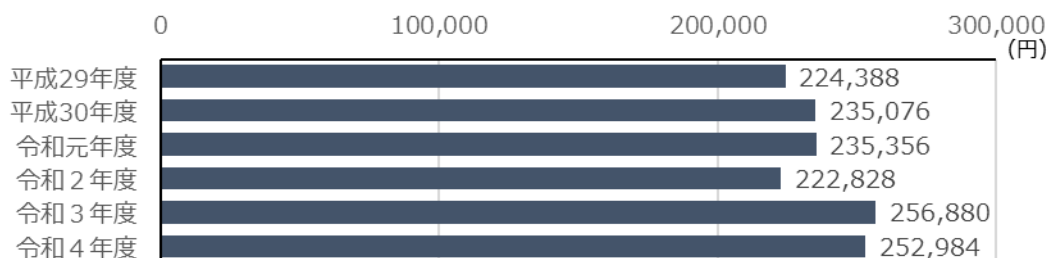


国民健康保険療養給付費等の状況

単位：円

	受診率	診療費費用額	療養諸費費用額	医療給付費
平成29年度	1,234.05	21,654	294,889	224,388
平成30年度	1,254.58	232,586	284,122	235,076
令和元年度	1,307.55	231,287	285,515	235,356
令和2年度	1,155.45	218,665	269,223	222,828
令和3年度	1,270.69	248,646	304,941	256,880
令和4年度	1,275.24	244,270	302,990	252,984

\*原村の統計（令和4年度版）



◎受診率 = 件数 ÷ 人数 × 100

◎療養諸費費用額 … 入院・外来・歯科・調剤及び療養費を含む費用額

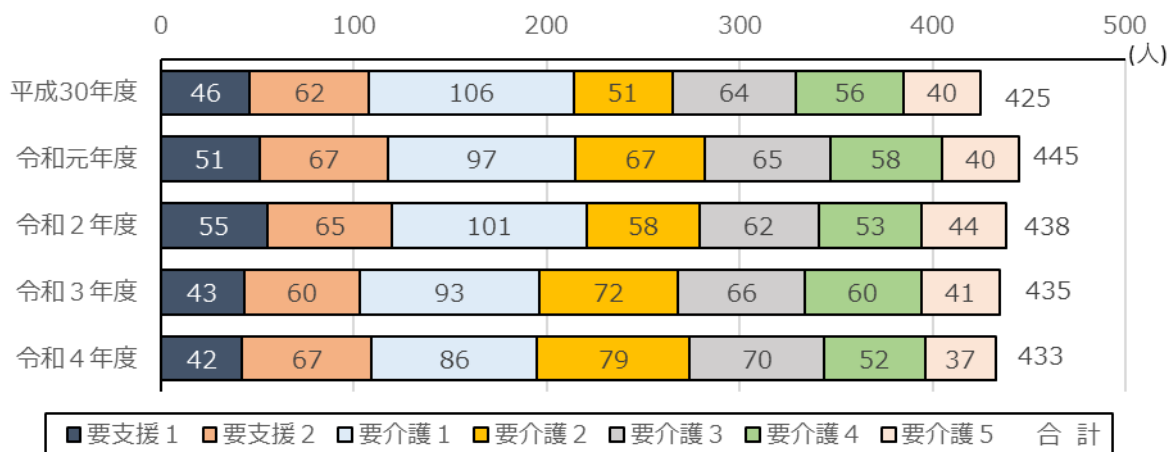
◎入院給付費 … 入院・外来・歯科・調剤・療養費及び高額医療費を含む保険者負担

## 5. 後期高齢者医療保険・介護保険等の状況

介護度別認定者の推移は、全体で、平成 30 年度 425 人から年度により増減があり、令和 4 年度は 433 人と 8 人増加しています。特に要介護 2、要介護 3 が増加し介護度の上昇傾向が見られます。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援 1	46	51	55	43	42
要支援 2	62	67	65	60	67
要介護 1	106	97	101	93	86
要介護 2	51	67	58	72	79
要介護 3	64	65	62	66	70
要介護 4	56	58	53	60	52
要介護 5	40	40	44	41	37
合計	425	445	438	435	433

\* KDB システム 要介護（支援）者認定状況より



令和 4 年度の介護度別認定率は、要介護 1 が 86 人の 19.9%、次に要介護 2 が 79 人の 18.2%、要介護 3 が 70 人の 16.2%と続き、全体の 54.3%を占めています。

